

2016J2

■順位表■第33節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	札幌	73p	+31	54	23	H●	A●
2	松本	64p	+21	45	24	H●	A△
3	C大阪	63p	+16	49	33	H●	
4	岡山	58p	+14	44	30	A○	
5	清水	57p	+30	62	32	H△	A●
6	京都	52p	+8	38	30	H●	
7	横浜FC	47p	+1	38	37	A○	
8	町田	46p	+5	41	36	A△	
9	千葉	45p	+4	44	40	A●	H●
10	山口	45p	-2	46	49	H●	A○
11	愛媛	43p	-3	28	31	A○	H○
12	長崎	41p	-5	33	38	H●	A●
13	徳島	40p	-3	33	36	A○	H△
14	水戸	38p	0	36	36	H○	A●
15	東京V	37p	-12	33	45	A△	
16	山形	35p	-8	31	39	H●	A△
17	熊本	35p	-16	31	47	H●	
18	群馬	34p	-11	38	49	A●	
19	讃岐	34p	-12	35	47	A●	H△
20	岐阜	34p	-19	35	54	---	---
21	金沢	29p	-20	31	51	A○	H●
22	北九州	28p	-18	34	52	H○	

次回HomeGame

第37節 vs.町田ゼルビア
10/22(土) 15:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

Living in Woods
本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : **ファジアーノ岡山**

2015 J2 12勝18分12敗 勝ち点54:第11位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2016/05/15 J2-13節@Cスタ	FC岐阜	ファジアーノ岡山
岡山 0-1 岐阜 エヴァンドロ scored.	2016/09/25 J2-33節@維新公園 山口 2-3 岐阜	2016/09/25 J2-33節@Cスタ 岡山 0-0 長崎
	2016/09/18 J2-32節@長良川 岐阜 2-1 愛媛	2016/09/22 天皇杯3回戦@カシマ 鹿島 2-1 岡山
	2016/09/11 J2-31節@長良川 岐阜 0-2 千葉	2016/09/18 J2-32節@うまスタ 熊本 0-0 岡山

●秋の長雨の中、開催された9/18(日)第32節・ホーム愛媛戦に臨んだFC岐阜。試合開始直後に先制されてしまったが、相手選手の退場もあって後半は#2阿部正紀の同点弾で追い上げ、後半アディショナルタイムに#10レオナルド・ロシヤのC Kが決まり、劇的な逆転勝利。13試合ぶり、ホーム戦では3/26(土)第5節・水戸戦以来6ヶ月ぶり、そして吉田新監督体制として初の勝利を、やっと掴むことができた。続く9/25(日)第33節・アウェイ山口に乗り込んだFC岐阜は、天皇杯による連戦で動きの鈍い山口相手に試合を優位に運ぶ。前半に#33レオミネイロおよび#2阿部正紀のゴールで2得点、後半にも#9エヴァンドロが追加点を挙げて一時は3-0とするものの、試合終盤には山口に追い上げられ、何とか守りきって3-2で勝利を収めた。この2試合、守備面や失点の時間帯には課題を残したものの、今シーズン第3~6節での4連勝以来、2度目となる連勝を手にした。2試合で勝ち点6を積み上げた岐阜に対し、22位・金沢は勝ち点3、21位・北九州は勝ち点1に留まったため、岐阜の順位は20位と変化がないものの、21位・金沢とは勝ち点差が5、22位・北九州とは勝ち点差6と引き離すことができた。また、18位・群馬および19位・讃岐とは勝ち点で並び、16位・山形および17位・熊本とも勝ち点差1の位置まで追いつけることができています。シーズン終盤に入ってさらに激しさや混沌さを増しているJ2残留争いの中、この連勝は本当に大きな自信をチームに与えたことだろう。もちろん油断できる状況では決してないが、この自信を胸に選手たちには毎試合、しっかりと勝ち点を積み重ねる戦いを僕たちに見せて欲しい。さて、今節の対戦相手はファジアーノ岡山だ。ここ10試合で5勝3分2敗で現在プレーオフ圏内の4位、自動昇格圏の2位まで勝ち点差6と好位置をキープしているチームだ。直近3試合は1勝2分と若干ペースダウンしているが、再び流れを取り戻そうと強い気持ちで長良川に乗り込んでくるだろう。厳しい試合となることが予想される。岡山との通算対戦成績は、岐阜の7勝5分4敗20得点16失点と岐阜が勝ち越している。今シーズンも5/15(日)第13節のアウェイ戦では、#34田中達也が奪ったPKを#9エヴァンドロが決め、この虎の子の1点を守りきって1-0で勝利。しかし、ホーム戦では2勝3分2敗9得点7失点と、ほぼ互角の対戦成績で、昨シーズンも11/8(日)第40節は0-0のドロー。強い岡山が相手ではあるが、今節は相性の良さや連勝の勢いを維持して、ホーム戦での通算勝ち越し、そしてシーズン3連勝を狙いたい。岡山の最も注意すべき選手は、やはり現在10得点を決めている#14押谷祐樹だろう。09~11年の3年間、期限付き移籍にて岐阜で活躍した岡山のエースは、岐阜との対戦では普段以上に激しく闘志を燃やしてくる。押谷と共に闘った経験がある岐阜の選手は#17野垣内俊だけだが、両選手のマッチアップには注目したい。岡山にはベテランFW#24赤嶺真吾やU-23日本代表の#10矢島慎也などがおり攻撃陣も多彩だが、総失点30と現在リーグ3位の堅守を誇っている。これにはやはり、J1鹿島の黄金期を支え続けた大ベテラン#35岩政大樹の存在が非常に大きい。しかも岩政は現在5得点を決めており、攻撃面での存在感も無視できない。しかし、この固い守備陣を崩さなければ岐阜の勝利は見えてこない。岐阜の攻撃陣の活躍が望まれるが、特に岡山県出身の#24難波宏明には、ゴールと久しぶりの“難波劇場”に期待したい。今シーズンも10月に入り、いよいよ残り9試合。ナイターには少し肌寒い季節になったが、僕らは岐阜の選手たちの活躍と勝利で身も心も熱くなる、そんな試合を見せてほしい。僕らも最後まで勝利を信じて拍手と声援を送り続け、熱い気持ちで選手たちを鼓舞しよう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
アドレスが変わりました
gidaidohri@gmail.com

【第32節】 岐阜 2-1 愛媛

●激しく雨が降りしきるメモリアル。水の溜まりやすいピッチでは、最後まで必死に走って、積極的にシュートを狙う方が勝利を手にするハズ。そして雨の愛媛戦といえば、2014年、台風直後の4-3での逆転勝利が僕には印象深い。12試合未勝利でなかなか光明が見えないけれど、何とかホームで勝ちたい…そんな試合のスタメンには、#9エヴァンドロと#33レオミネイロが。後半からじゃなくて前半からブラジルコンビでカウンター狙いかしら？個人的に残念だったのは、“重馬場特性”が高いと感じている#17野垣内俊がベンチ外だったことかな。200試合達成のセレモニーも、スタメンで迎えて欲しかったな…。

ところが、わずか前半2分でCKから失点…(溜息)。オフサイドかと思って動きが止まったようだったけど、セルフジャッジはダメでしょ…「まずは守備から」という意識が今節は薄かったのかな、反省して欲しい。

ところが、直後にロングボールに抜け出した#33レオミネイロが倒されて、試合は急展開。イエローは当然なのに主審がカード提示をしないからレオは怒ってたのね。んで主審は副審に、ファウルの位置がペナルティエリア内なのかを確認して…レッドカード。これで完全に有利になったハズの岐阜なのに、しかし優位に運べない試合展開。もちろん1点リードしている愛媛が守備を固めてきた面もあると思うけれど、数的有利を活かして素早い攻撃を仕掛ければ良いと思うのに、ボールを奪ってもDFラインの後ろでボールを繋いで相手に守備を整える時間を与えてしまうし、縦に仕掛けることも、ミドルシュートを撃ってこぼれ球を狙うことも少ない。愛媛の守備を崩すことができず、僕は正直イライラしながら前半を終えた。

ところがロッカールームで吉田監督の檄が飛んだのか(苦笑)、後半になると、スイッチが入った岐阜の攻撃陣が愛媛を攻め立てる。縦に速い攻撃で何度か決定機を演出し、徐々に得点の匂いがしてきたところで、ゴール前からのこぼれ球を#2阿部正紀が流し込んで同点！！沸き立つスタジアム。逆転への期待でボルテージも上がるけれど、残念ながらすぐには逆転ゴールは入らない。そこで吉田監督は#10レオナルド・ロシャを投入したのだけれど、彼はボールを触って自分のリズムをつくるタイプ。実際、その影響で攻撃の勢いが落ち着いてしまっただけで膠着状態に。これは“悪手”かも…と思ってしまった僕を許してください、ジャンピング土下座してお詫びします(苦笑)。

逆転を信じて声援を送り続ける岐阜サポ。でも、なかなか愛媛のゴールネットは揺れず時間だけが過ぎてゆく。けれど、12試合未勝利でも豪雨の中でもスタジアムに詰めかけた僕らに、サッカーの神様は小粋なプレゼントを用意してくれていた。アディショナルタイムでのCK、ほぼ最後の攻撃。#10レオロシャがインスイングで振り抜いた左足から放たれたボールは、とても綺麗な弧を描いて…愛媛ゴール前の混戦で一瞬見えなくなったと思ったら、僕らの目の前で、反対側のサイドネットを揺らして…逆転ゴール。一瞬何が起こったのか判らず、直後に喜びを爆発させる岐阜サポーター。そして…試合終了。3ヶ月ぶり、ホームでは半年ぶりの勝利。正直、喜び方を忘れかけていました(苦笑)。もちろん、試合開始直後に失点したり、10人の相手に最後まで決めきれなかったって問題はあった。だけど、ホームでの勝利は、やはり格別だ。そして結果が最良の特効薬だと思う。

試合終了後、スコールのような大雨が僕らに降りかかってきた。びしょ濡れになりながら、なにか吹っ切れたように僕らは笑い、喜びを分かち合った。今まで心に溜まっていたものを洗い流すように、激しく雨は降っていた。(ささたく)

●試合開始前の野垣内 200 試合 (前節の千葉戦で達成) の表彰を、彼はユニ姿で受けなかった。雨で水が浮き出すほどの劣悪ピッチ。こんな時こそ“重馬場の俊”が活きる！とぼくらは思うのだけど、ベンチにも入らなかったのは、コンディションの問題があったのだろうか。

試合開始早々にセットプレーからサククリと先制される、正直言って「いつもの」展開。吉田監督になって9試合目、攻撃をブラジル人頼みにしているところから鑑みて「守備構築」を優先に練習していると思っているのだけど、この「セットプレーでの守備の弱さ」はまったく治っていない。なんとかならないのだろうか……。

しかし、その数分後に難波のロングフィードに抜け出したレオミネイロが倒されてファウルを得る。レオミはかなり怒っていたが、手がかかったのはエリアの外でしたね。でも「得点機会阻止」で愛媛DF浦田が一発退場。これで83分以上を11人対10人で戦えるようになる。

ところが、点が入らない。まあ、納得ではあるけどね。だって、上にも書いたけど「攻撃はブラジル人頼み」でここまでやってたんだもん、『崩す』という発想と技術に乏しい。愛媛はしっかりとブロックを作って守る。岐阜は阿部ちゃんのゴールで追いついたけど、後半途中から左SBのスズジュンがバテバテになって、そこを起点に何発かカウンターを喰らう始末。吉田監督には考えがあるのだろうか、観ていて「なんで磐瀬を左にまわさないのだろうか……」と思っていた。やはり野垣内のベンチ外が悪い意味で効いた。試合終盤、ぼくは「1-2の負け」まで覚悟しました。

終了直前のレオロシャのCK直接、という劇的な幕切れで吉田監督初勝利。そりゃ嬉しいさ。万歳四唱を終えてから(翌日も休みだったので)岐阜駅前で終バスを無視して呑みに行ったださ。でも、本来はこんな「劇的」は要らない。それがこうなってしまうのがFC岐阜の現在位置。別に今後に向けて“光明”が見えた勝利というわけでもなかった。(吉田铸造)

【ユース】 G1 制覇の夢、遠のく

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年G1リーグに参加しており、9/22(祝)に第14節帝京大可児戦が有り、観戦してきました。帝京大可児は昨年プリンスリーグから降格してきましたが、今年も第13節までに12勝1分で勝点37とブッチギリの首位を走っています。我らがFC岐阜ユースも負けは有りませんが、9勝4分の勝点31の2位となっており、この日の試合は勝たないと「G1制覇」=「プリンスリーグへの挑戦権獲得」は叶いません。

試合は開始当初はFC岐阜ユースが何度もシュートチャンスを出しますが、ネットを揺らす事が出来ません。帝京大可児も前半途中からペースを取り戻し、何度目かのCKをドンピシャヘッドで決めて先制する事に成功。0対1と帝京大可児がリードして前半が終了しました。後半も一進一退の攻防が続きますが、両チームともにGKのファインセーブにも阻まれ点を取る事が出来ません。そして試合終了間際になり前がかりになっていたFC岐阜ユースのパスミスを取った帝京大可児がショートカウンターを成功させて追加点。そして数分後に試合終了。この試合の結果、残り4試合で勝点差が9となり、ほぼ帝京大可児の優勝が確定的になりました。

さて、秋のカップ戦であるJユースカップについて。以前は予選リーグを行った後に決勝トーナメントをしていましたが、昨年からはトーナメント一本にまとめられました。FC岐阜ユースの初戦は10/10(祝)にガンバ大阪ユースと対戦します。ガンバ大阪ユースは高校世代の全国リーグであるプレミアWESTに参戦しており、第14節終了時点で10チーム中4位にいる強豪チームです。簡単に「勝って来いよ！」と言える対戦相手では有りませんが、とは言っても同年代のチーム。しっかり自分達の試合をして吉報を届けてほしいと思います。試合会場はガンバ大阪練習場で14時KO！この試合に勝利すると2回戦は長良川競技場で10/22(土)19時試合開始で行う事となっています(つまりトップチームの町田ゼルビア戦の後で試合ですね)。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！
※試合会場・時間は変更される場合があります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

【第33節】 山口 2-3 岐阜

●まずはじめに、僕は懺悔と共に告白します…9/7の天皇杯2回戦・福岡 vs 山口戦、僕は全力で山口を応援してましたっ！だって、勝てば3回戦は9/22(木)新潟戦だって判ってたから！(笑)つまり僕らとの対戦時には、山口がホームとはいえ、J1新潟とビッグスワンで対戦して、中2日での試合。ここに僕らがつけている隙が生まれるかも…と考え、そんな皮算用をしながら山口に乗り込んだ訳です。ええ、「このダサンダーめ！」と石を投げられる覚悟はできています(苦笑)。

案の定(?)、ほぼガチメンバーで新潟と戦った山口は、前節と比べると4人のスタメン変更。やはり連戦の疲労で動きの鈍い山口に対して、対策をする時間があつた岐阜の方が試合を優位に運ぶ。個人的な感覚では、山口の攻撃は「自分たちの定石をノータイムで打ち込んできて、相手に対応する時間を与えない」のが特徴だと思っているんだけど、その精度が、選手たちの疲労とメンバー変更によって落ちていたと思う。それと、岐阜の守備陣が「定石を打ち込みは始める前の起点」を潰すことにも成功していて、そこからボールを奪ってのカウンターでのチャンスも生まれていて、なんだか前半から攻めている岐阜って久しぶりに見たような(苦笑)。カウンターの相手DFラインを抜け出した#33レオミネイロが先制、そして相手選手に当たった幸運もあって#2阿部正紀のミドルが決まり、安定した試合運びで2-0で前半を折り返す…のも、なんか久しぶり過ぎて逆に不安になったのは、僕だけでしょうか(苦笑)。

後半になっても岐阜の優位は変わらず、早々に#9エヴァンドロが見事なループで3点目。しかし、さらに不安になる僕。昨年“あの”ヴェルディ戦を目の当たりにした者にとって、「3点差は危険なスコア」としか思えなくて(苦笑)。しかも、山口は本来の「攻撃の起点」#10庄司悦大を投入。さらに、それまでは僕には不思議なぐらい山口サポーターの声援は静かで、スタジアムには面白いぐらい僕らの声が響いていたのだけれど、あわや山口のPKかというプレーがビジョンで流されてからは声援のスイッチが入り、すこしイヤな流れに。徐々に守備に回る時間が長くなり、選手たちの足も止まりだし、貰うカードも増えていく。何とか持ちこたえていたけれど、終了間際に山口にゴールを許してしまうと、スタジアムのボルテージは急上昇。まだ2点差あるのに、慣れないリードを冷静に維持できず、バタバタしてしまうのがウチの悪いクセだよな…(溜息)。アディショナルタイムにPKを献上して1点差に迫った山口サポのボルテージは最高潮。僕の脳裏には“あの”ヴェルディ戦の悪夢が甦り、それを打ち消すように、祈るような想いで必死に声援を送る…永遠とも思えるような時間が過ぎ、主審が試合終了の笛を吹いた時には、なんだか負けてしまったような感覚に陥ってました(苦笑)。僕らの前に挨拶に来た選手たちも、やっぱり勝利を素直には喜べないような顔が多かったような気がした。

でも、どんな勝ち方でも勝利は勝利！！シーズン終盤は「勝てばよからうなのだアアアアッ！！」(笑)喉から手が出るほど欲しかった勝ち点3、そして連勝！！もちろん試合の終わらせ方は反省点も多いから、しっかり修正して欲しいけれど、この連勝という結果を自信に変えて、残り9試合、勝ち点を積み上げますよ！！(ささたく)

●ナンちゃんが決めそこなって相手GKが手当を受け始めた時点で「あ～、こりゃ5分は取るな。」と思ったら、案の定なATでしたね(苦笑)。それでも、アノ味スタの82分を越えた辺りでは、これなら……と思った矢先の失点。そこで、「あと7分だろ。」と思うのが他サポの方々。「あと7分もある……。」と思うのが岐阜サポ。そして、展開は悪夢を再現するかのよう。ATが7分だったら……。そんな想像をしてサブイボが出る試合後でした。いったい、いつまで残るんでしょうか？味スタのトラウマは、ニンスタでの、あの勝利はなんだったのか。恐怖は歓喜を蹂躪してしまうものなのでしょうか？勝因は、やはり先制点でしょうね。特に、山口の島屋が絶好の決定機を外してくれたこと。キックオフからこの場面まで

山口のシュートは0のはず。ウチとは思えない試合運びでしたが、まさに、コレが山口と言わんばかりのパス交換から、どフリーの島屋。枠に飛んでたらヨシナリは見送るだけの場面。アレが勝敗を大きく分けた。そんな感じがします。イイ入りをしながら失点。ウチの氣勢を削ぐには十二分な状況に嵌められるところでした。

逆にウチの得点は単純なこと、このうえなし。だいたい、相手GKからのフィードを、センターサークル付近からアタマで前線へ戻したのがウチの右SBで、相手DFに挟まれながら、それをアシストにしてループを決めるとか、なかなかお目にかかれない場面。追加点は、件の右SB・アベちゃんがゴールラインと平行にカットインして、逆足の左で撃つたら相手DFに当たった後、向こうのGKの指先の上を嘲笑うかのよう弧を描いてネットを揺らすとか、もうね。アベちゃん、スゴイよ、アベちゃん。

そして、3点目はフォアチェックからの悠斗のスルー。後はエヴァが上手かった。だけど、やっぱり、エヴァから瀧谷。この交替が裏目だったかな？いや、瀧谷も頑張ったけど、前目での収まり所がなくなつたうえに、山口の途中出場の庄司に翻弄されたというか、やりたい放題にやられた天皇杯から中二日。疲れもあつたろうか、チグハグだった山口を立て直されてしまった感。返す返すも、瀧谷からのパスをナンちゃんか、奥にいたレオミが決めていたら。4点差になつていたら。いやね、正直な所を言えば「3-0にしたんなら、あとはしっかりクローズしろや？」ですよ。まあ、今のウチには無理ゲーか。出たトコ勝負、終わった時に結果は出てる(笑)みたいな感じで精一杯。ゲーム・コントロールなんて、とてとても、ホント、心臓にワルイ。けど、結果が全て。トップ・ハーフの一角から勝ち点3はデカイ。後は少なくとも北九州との直接対決を制し、群馬か熊本のどちらかを抑えれば。勝ち点40までいけば……。さすがに何とかかな。そう思いたい。

10月は岡山、桜、京都に町田。そして、北九州。北Qまでの4試合で勝ち点3は高望みか？とはいえ、まずは目の前にある試合。それを全力を尽くしましょう。現地組の皆さん、お疲れさまでした！(ぐん、)

●25日(日)のアウェー山口戦は柳ヶ瀬でPVが有りましてので、参加してきました。

実は場所を間違えて(汗)会場到着は試合開始直前になってましたが、既に沢山の人が居たので、後ろに立って観戦する事にします。試合は比較的優位に進み、レオミネイロ選手・阿部選手の得点の時には大きな歓声上がり、周りの人とハイタッチして喜びを共有。これが出来るのがPVの最大の利点ですよ！終盤はバタバタの展開となり、ため息や悲鳴が会場に充ちますが、何とか逃げ切り3対2で勝利！中継映像と一緒に万歳4唱もしてメデタシメデタシでした。

今回の会場は「柳ヶ瀬あい愛ステーション」でしたが、また高島屋横の「わくわくステージ」でもやりたいですよ。あそこなら偶々通りかかった人にも興味持ってもらえると思うので。(ヤックル)

9/30 現在の、J3 順位表。 (残り7試合)

自動昇格	1	栃木	47p +14	28	14	★保有
入替戦	2	大分	43p +17	36	19	★保有
	3	鹿児島	43p +10	31	21	
	4	富山	40p +11	31	20	★保有
	5	秋田	37p +7	27	20	
	6	長野	36p +7	25	18	★保有

●9/28に鹿児島へのJ2ライセンス不交付が発表されました。これにより、もし鹿児島が2位以内に入れば、今季J2の21位は自動残留になります(優勝したらJ2最下位はJ3の2位と入替戦。準優勝だとJ2最下位は自動降格)。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人：吉田铸造)

